

～防災知っ手帖～

発行：郷地・東町連合自治会 会長 志村和亮
防災部 鈴木祥平、初谷 晃

今年度の「防災知っ手帖」発行にあたり

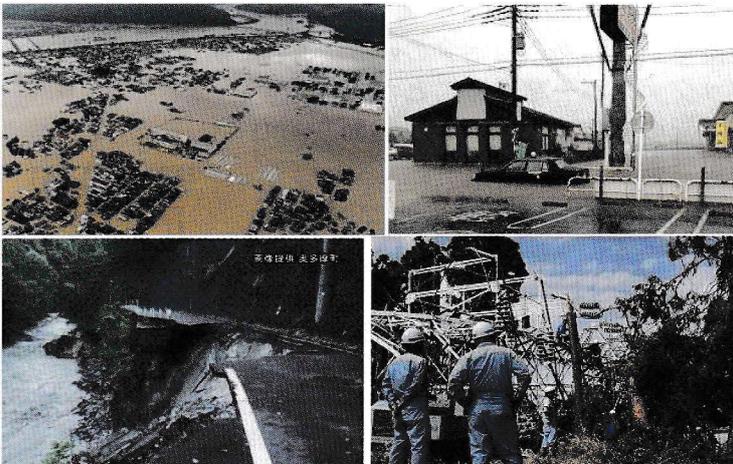
昨年度は**防災知っ手帖**の発行をスタートし、合計で4回発行することができました。内容は主として立川断層帯地震や首都直下型地震に対する危機意識を持っていただき、その対策等を考えて頂くものでした。

今年度はそれに加えて豪雨・強風等の風水害についても取り上げていきます。ぜひ、よく読んで、我が家の防災対策に活かして下さい。

今年になって**新型コロナウイルス感染防止**が重要な課題となっていますが、大地震や大雨等の危険が減ったわけではないので、防災・減災の取り組みは手を抜かずに進めていきましょう。

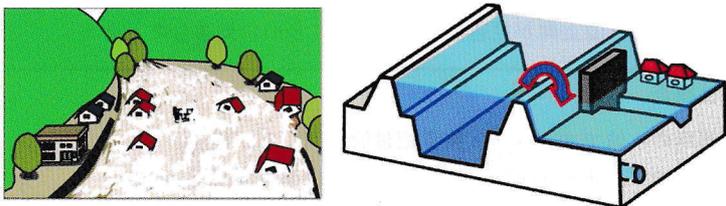
なお、避難所における感染対策について2ページ目で触れていますので最後まで目を通して下さい。

台風・大雨・強風に備えましょう



昨年（2019年）は、豪雨・暴風による被害が多発した年でした。8月には九州北部を中心とする記録的な大雨が発生（**大雨特別警報**）。9月9日に台風15号が千葉を中心に首都圏を襲い、**記録的な暴風**で従来にない大きな被害が出ました（送電線用の鉄塔の倒壊により広範囲に停電など）。続いて10月12日には台風19号が伊豆半島から**首都圏を通過し**、**大雨**で各地に甚大な被害が出ました（千曲川の氾濫、武蔵小杉のタワーマンション水浸被害など）。更に10月25日に千葉・福島を中心に**記録的な大雨**が降り、河川の氾濫や冠水被害がでました（浸水想定区域外でも浸水）。

これまで大丈夫だったとしても**今後も大丈夫とは言えません**。大地震に対する備えとともに台風・大雨・強風に対する備えもぜひ見直しをして下さい。



ハザードマップ改訂版

2020年6月末に昭島市から市内全戸に**ハザードマップの改訂版**が配布されました。命を守るための大切な資料なので、捨てたりしまい込んだりせず、ぜひ自分の居住地の危険情報を読み取って覚えておいて下さい。

郷地・東町連合自治会の範囲では**多摩川が氾濫した場合の浸水想定区域**と**残堀川が氾濫した場合の浸水予想区域**の二つの危険が予想されている特別な地域になっています。また、多摩川浸水想定区域内の、主として奥多摩バイパスと多摩川に挟まれた区域（一部バイパス北側も含まれる）は**家屋倒壊等氾濫想定区域**とされ、洪水時に家屋が倒壊するような激しい氾濫流が発生する可能性が高いとされています。該当地域の方は避難情報が発令された場合はすぐに安全なところに避難できるよう日頃からしっかり準備しておいて下さい。

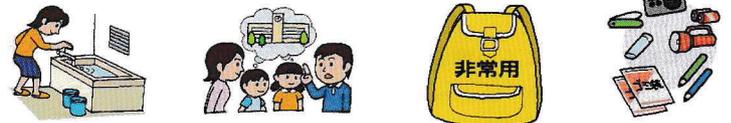
<事前情報の入手手段・入手先を確保>

台風・大雨・強風などは地震とは異なり、かなり前から気象庁による進路・発生予報が継続的に出されます。また河川の増水状況も各自が随時入手できるようになっています。日ごろから**情報入手手段・入手先を認識**しておき、正確な情報で行動できるよう準備しましょう。

停電になるとスマホやラジオに頼ることになるので、充電手段や電池の確保も必要です。

<避難持ち出し品のリストアップ>

避難直前にあわてて持ち出し品を用意しようとしても漏れがあったり、そもそも家に置いてなかったりとまともな用意ができません。普段から何を持ち出すべきかをリストアップしておきましょう。ものによっては事前に購入しておく必要があるかもしれません。



台風・大雨・強風などの予報が出たら・・・

危険な事態になる前に予報が出されるので、情報収集をしながら、タイムテーブルに従って危険を軽減するための対策を計画的に進めます。

<ポイント>

- ・いざ避難するとなった場合の避難先を想定する（避難とは避難所に行くことと同じではありません）
- ・非常持ち出し品の収集（特に個人的に必須なものは自分で確保しておく）
- ・公共交通機関の計画運休情報の把握（最近では計画的に運休する交通機関がでてきている）

<在宅避難を想定している場合のポイント>

- ・停電や断水を想定した電池、飲料水、生活水の確保（強風による停電の可能性もあります）
- ・食料品の買い増し
- ・家の周囲の排水設備の点検・清掃

東京マイ・タイムラインの活用

**3日後に大型で強力な台風が昭島を直撃！
その時あなたはどうしますか？**

実際に風水害の危険が迫ってからやるべきことを考え始めても、考えもれや不備が多発して思うように対策できません。

そんな人の為に東京都防災計画課では「マイ・タイムライン」という、個人が風水害への対策を計画的にできるツールを開発しています。一度webサイトを覗いてみて下さい。

東京都防災ホームページ

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/index.html>

上記サイトから→「東京マイ・タイムライン」をクリックするとページを確認できます。



東京マイ・タイムライン

関連情報掲載サイト

昭島市「防災・消防」サイト

<https://www.city.akishima.lg.jp/li/010/070/index.html>

上記サイトから→「災害情報」→「気象警報・河川水位等へのリンク」で多摩川・残堀川の状況も確認できます。



昭島市で検討している避難所における感染対策

以下のような対策を現在進行形で推進中。

- ・マスクやアルコール消毒液、パーテーションなどの衛生用品に関する備蓄の検討・推進を図ります。
- ・体育館などの収容スペースについてはこれまでの想定よりも避難者同士の間隔をあける、換気を徹底するなどの対策を行います。

新型コロナ時代に各自で行う避難対策

新型コロナウイルス感染防止の為「3密を避ける」よう推奨されています。命を守るための避難行動が、感染リスクを増大させるようでは本末転倒ですが、避難所における感染対策の全てを行政に依存するのではなく個人でできる対策を準備しておくことも大切です。

1. 避難所以外の避難先（親戚等）を確保しておく
2. 自宅2階への避難
(ただし、家屋倒壊等氾濫想定区域は不可)
3. 避難所に避難する際は非常持ち出し品に加え、マスク、体温計、携帯消毒液、などを携行

「防災知っ手帖」のバックナンバーのご案内

郷地・東町連合自治会のwebサイトで防災知っ手帖のバックナンバーを見ることができます。

下記のurlにアクセスし、画面左側の防災活動紹介をクリック。

<https://www.akishima-jichiren.jp/b01/>



大雨に伴う避難勧告等の発令基準（暗くなる前の避難を心がけましょう）

警戒レベルの数字（レベル3とかレベル4等）をよく認識して適切に行動して下さい。

防災無線が聞こえにくい地域の方は、「昭島市公式ホームページ」から「携帯メール情報サービス」を選んで登録すると防災無線の内容が携帯やPCにメールで届きます。

		警戒レベル3	警戒レベル4
		避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告 避難指示（緊急）（*1）
	郷地・東町連合自治会のエリアにおける対象区域	避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される段階です。いつでも避難ができるよう準備をしましょう。なお、避難に時間を要する人（高齢者、障がい者、乳幼児のいる方）はこれより前に準備し、避難を開始しましょう。	災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった段階です。安全な場所へ避難しましょう。
土砂災害警戒区域等	郷地2丁目北側の福島1丁目境界付近の一部	大雨警報（土砂災害）が発表され、かつ、土砂災害に関するメッシュ情報で「警戒以上の基準に到達」するとき	土砂災害警戒情報が発表されたとき
残堀川 浸水想定区域	東町(1丁目、3丁目、4丁目)の一部、及び郷地町1丁目の一部	残堀池上水位(*2)が2.14m、または残堀池下水位(*2)が1.90mの警戒水位に到達したとき	残堀池上水位が3.74m、または残堀池下水位が3.32mの危険水位に到達したとき
多摩川 洪水浸水想定区域	郷地町2丁目、3丁目の全域	調布橋水位(*3)が避難判断水位(1.2m)に到達し、更に水位上昇が見込まれるとき	調布橋水位が氾濫危険水位(1.6m)に到達したとき

(*1) 地域の状況に応じて緊急的、または重ねて避難を促す場合等に発令

(*2) 残堀池上水位及び残堀池下水位とは、残堀川調節池にある観測所の水位です。・・・東京都建設局河川部が担当。

(*3) 調布橋水位とは、青梅市上長淵にある調布橋水位観測所での水位です。・・・国交省京浜河川事務所が担当。